

講義名	中国語B		
科目区分	グローバル		
担当教員	森 宏子		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限	授業形態	
	2020年度 人間社会学部 人間健康学科/2020年度 人間社会学部 観光学科/2020年度 人間社会学部 人間社会学科/2020年度 経済学部 経済情報学科/2020年度 経済学部 経済学科/2020年度 商学部 マーケティング学科/2020年度 商学部 経営学科/2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース/2019年度 人		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

**主題と概要**

この授業では中国語の基礎を学びます。中国語はよく「発音よければ半ばよし」と言われます。発音が命といっても過言ではありません。中国語学習の最初の目標は、正しく発音ができ、聞き取れ、ピンイン（中国語音のローマ字表記）がきちんと読めることです。私たち日本人にとって中国語学習は、漢字を理解できることが大きなメリットですが、逆にデメリットになることもあります。たとえば、漢字を見るとなんとなく中国語を理解した気分になり、発音を大事にしないということがよく見られます。それでは中国語を真にマスターすることはできません。中国語を音でキャッチし、理解できるようになりたいものです。テキストでは基本的に活用度の高い表現を学びます。半年の学習でも、けっこう使える言い回しを学ぶことができます。本学には中国からの留学生がたくさん在籍しており、中国語がいつでも使える恵まれた環境にあります。学んだ中国語をどんどん使って、留学生と積極的に交流してほしいと思います。

**到達目標**

- 中国語学習を進めていく上での基礎的知識（発音、ピンイン表記）を身につける
- 基本的な中国語を聞き、質問や状況に応じた応答ができる
- 基本的な文の意味を理解でき、書くことができる

**提出課題**

適宜指示します。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック**

中間テストは返却し、講評を行います。

**評価の基準**

次の点を総合的に評価します

1. 授業態度 30%
2. 中間テスト・期末テスト 70%

**履修にあたっての注意・助言他**

外国語の授業は実践的なものなので活発な取り組みを期待します。授業中の積極的な態度は大いに評価します。最近スマホを操作している人が見受けられますが、そのような消極的な授業態度は大きなマイナスポイントとなります。教科書は必ず各自購入してください。教科書を持参しないのは最も大きな減点となります。

<b>教科書</b>				
・中国語1年め。	緒方昭・小林光考・胡慶華	白水社	2300+税	978-4-560-06928-8

**プリント資料及び参考文献**

必要に応じてプリントを配布します。

**授業計画**

1. ガイダンス、発音練習
2. 第1課 中国人留学生と知り合う
3. 第2課 携帯の写真を見て
4. 第3課 いっしょに勉強しよう
5. 第4課 ファストフード店で
6. 第5課 Tシャツを買う
7. 中間テスト
8. 第6課 いっしょに遊びに出かける
9. 第7課 花火は何時から
10. 第8課 学園祭
11. 第9課 カラオケに行く
12. 第10課 中国の映画を見る
13. 第11課 帰国を前にして
14. 第12課 空港で
15. 予備日

※1～1.5回の授業で1課を消化するペースを基本とする

<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>	
ア：PBL（課題解決型学習）	
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
ウ：ディスカッション、ディベート	
エ：グループワーク	
オ：プレゼンテーション	
カ：実習、フィールドワーク	

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

（授業前）新しい課に入る時は、事前に単語帳（ワークシート）を別途配布します。単語帳は自宅で完成させてください。また、次の授業で学ぶところにざっと目を通すことをお勧めします。それをするだけでも、授業の理解度が格段にアップします。（1時間半～2時間）

（授業後）復習はしっかりと。語学は積み上げ方式です。しかも、みなさんにとって中国語は初めて学ぶことばで、学ぶことすべてが新しく、覚えることがたくさんあります。毎回授業で学んだことを自宅でもう一度振り返り、しっかり理解していく必要があります。授業時間内にできなかったドリルは宿題とします。（2時間～2時間半）

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**